

取扱説明書

抗菌消臭剤 (K-タイプ) (ED-50タイプ 花粉破壊型)
成分 銅イオン・銀イオン・亜鉛イオン・有機酸・アミノ酸

銅イオン 抗菌性が高くカビなどに有効。
消臭効果が高くタンパク臭や腐敗臭に有効。
必須金属で食物などから取り入れる。

亜鉛イオン 消臭性が強い。
薬品や薬に多く使用されている。
必須金属であり、健康や美容に使用されている。

銀イオン 古くから安全な抗菌剤として使用されている。
食器や薬の包装紙などとして使用されている。
最も多くの抗菌剤として使用されている。

本製品は、コロイドや微粉末では、ありませんので吸引し肺炎の原因などになりませんので安心して使用出来ます。

使用方法 抗菌・抗カビ・抗ウイルス・消臭として使用してください。

用途 繊維・一般消臭・車・部屋

SKE 抗ウイルス性製品 認定されました。

洗濯試験 30回クリア (繊維の種類により異なります)

繊維に抗ウイルス剤を投与しその後の繊維の消臭試験結果

消臭率 アンモニア 99% イソ吉草酸 98% 醋酸 96%

大腸菌 静菌活性値 6.1以上

黄色ブドウ球菌 静菌活性値 3.9以上

白癬菌 抗カビ活性値 3.6以上

抗ウイルス活性値 3.4以上



静電気防止（帯電性）JIS-L-1094 5.1 ポリエステル混合綿 静電気防止効果あり

LD50 5000m g / k g (当社計算値)

ウサギを用いた皮膚一次性試験 無刺激

モルモットを用いた皮膚感作性試験 皮膚感作性を有さないもの（刺激性なし）

皮膚貼り付け試験 安全品と判定された。

微生物を用いる変異原性試験 陰性

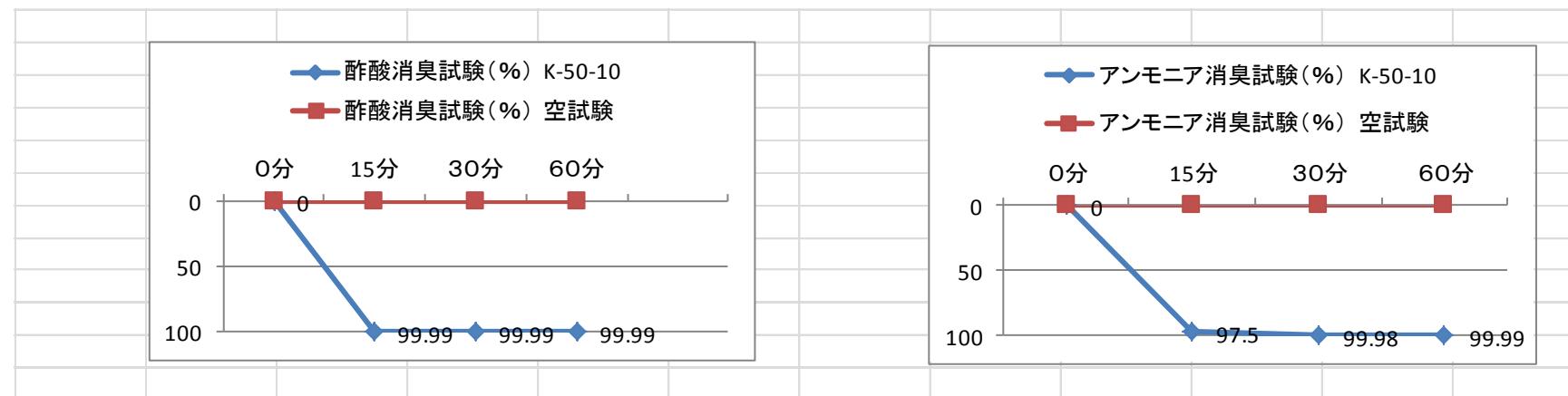
液体の試験結果

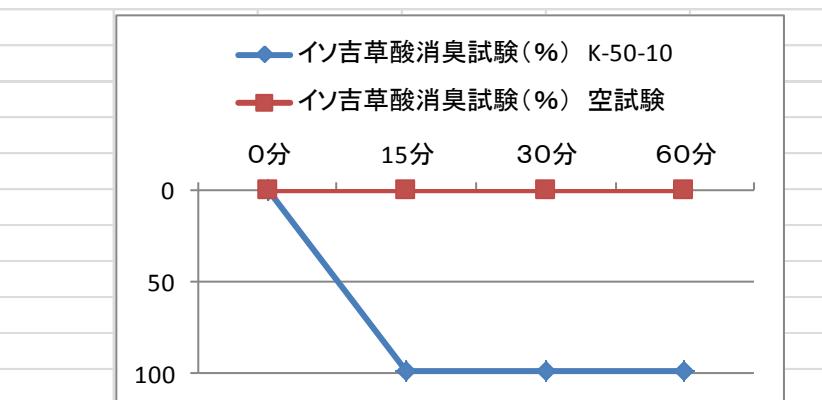
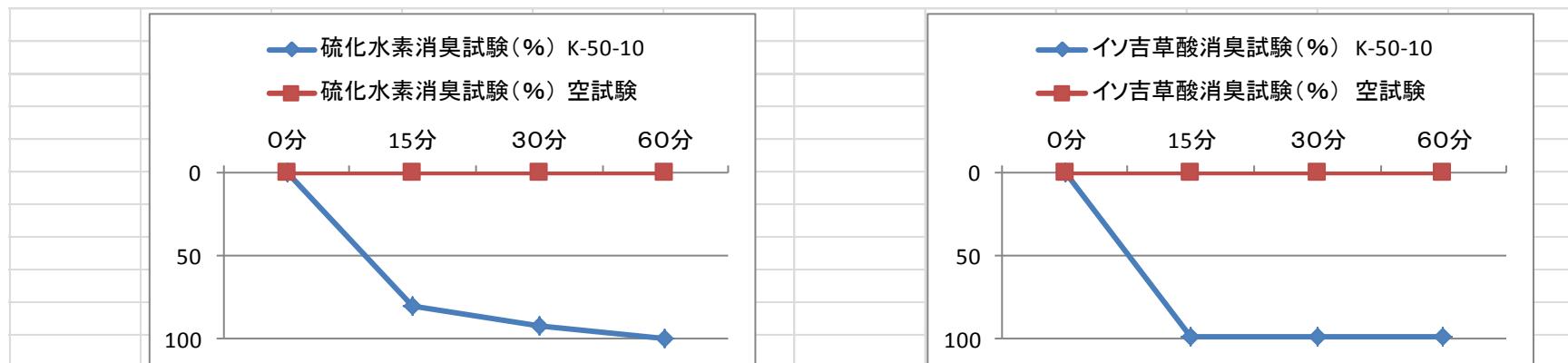
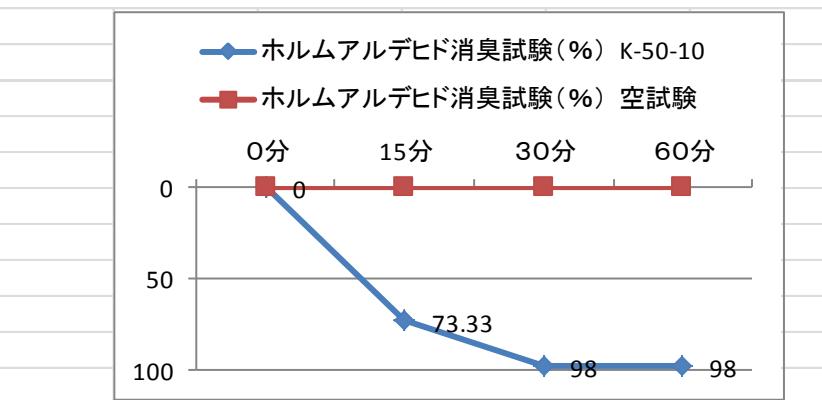
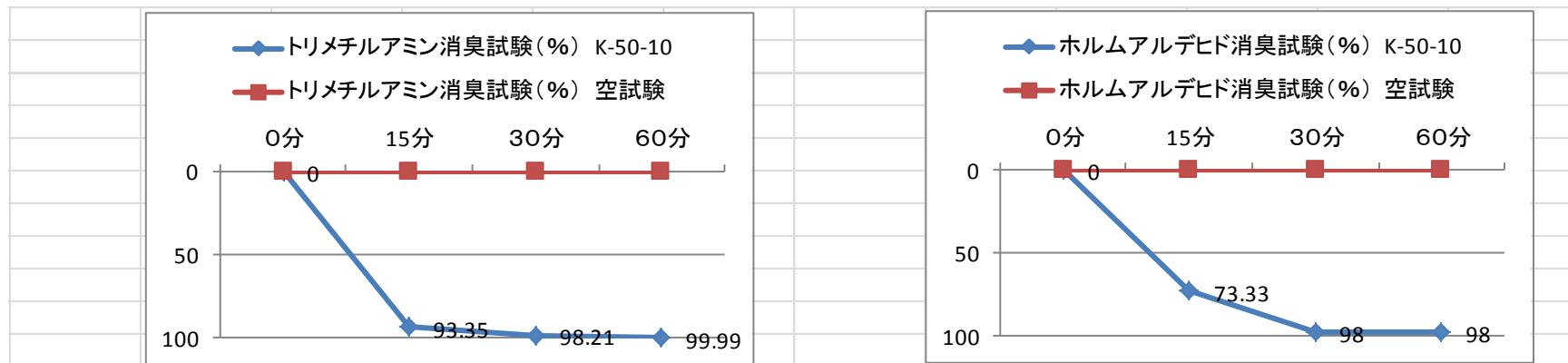
黄色ブドウ球菌 静菌活性値 5. 7 以上

緑膿菌 静菌活性値 5. 7 以上

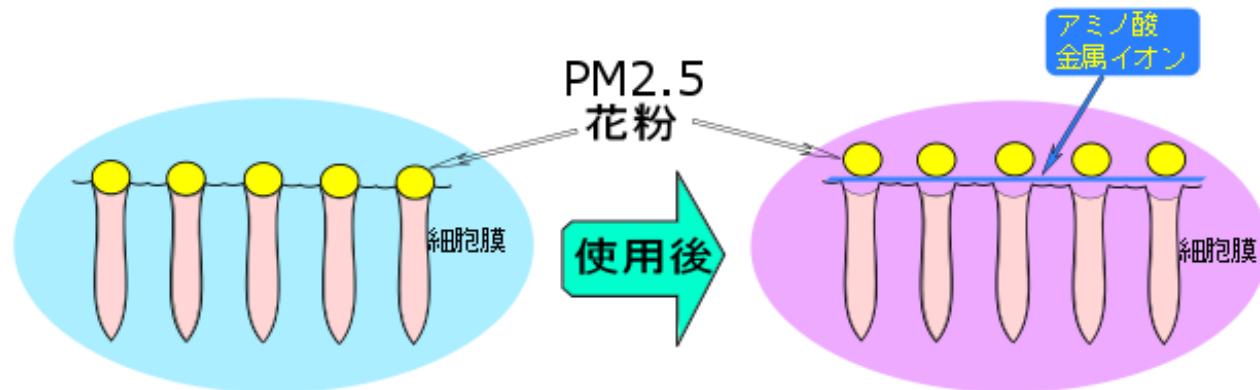
モラクセラ菌 静菌活性値 6. 1 以上

消臭試験





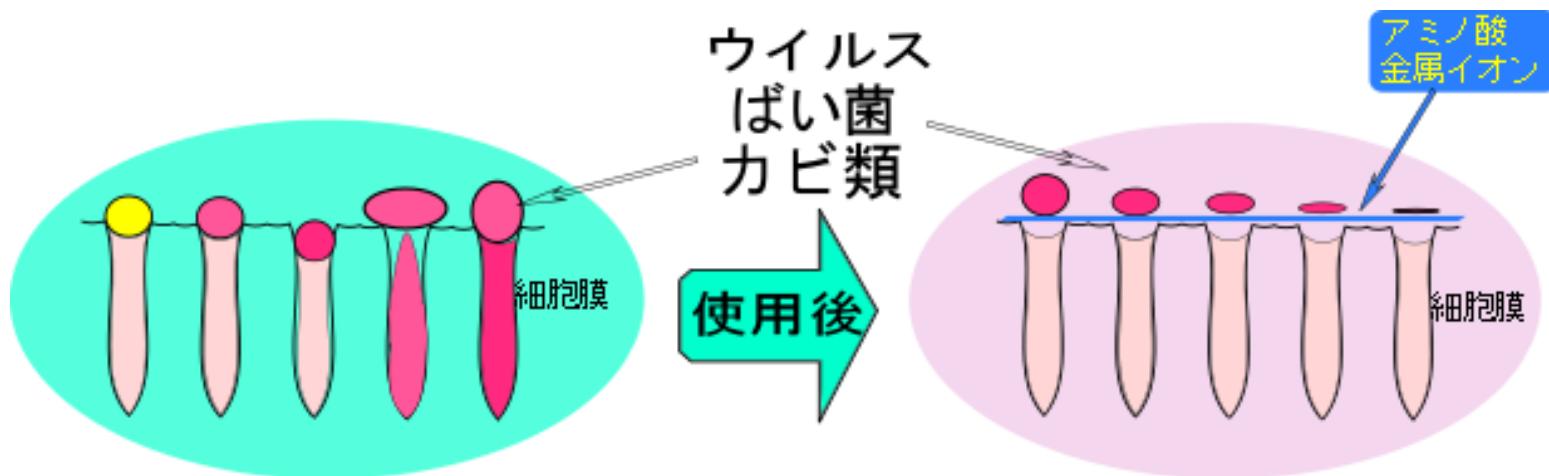
Kタイプのメカニズム



細胞膜に付着した花粉にはアレルギー性物質Cry j – 1が存在し細胞膜を刺激します。

細胞膜にアミノ酸金属イオンの被膜が張りがっちりガードすることで花粉が細胞膜に触れずアレルギー性物質Cry j – 1が細胞膜を刺激できない。

PM2.5などには、色々な化学物質や有機物がついています。また、アレルギー性物質も付着していることもあります。



細胞膜に付着したウイルス・ばい菌・カビ類は、細胞表面に付着をして炎症を引き起こしたり病的感染の原因となります。

細胞膜に金属イオンの被膜が張りがっちりガードすることで細胞膜に触れずウイルス・ばい菌・カビ類は、死滅し炭酸ガスと水に分解されます。